

市第 86 号議案 横浜市なしの木学園条例の廃止について

1 趣旨

築 33 年が経過し、老朽化が進んでいる横浜市なしの木学園について、平成 27 年 4 月 1 日に民営化し、現敷地内で運営法人による再整備を行います。

これに向け、平成 26 年度には、運営法人が職員採用などの具体的な準備を始められるよう、廃止時期を確定させるため、横浜市なしの木学園条例を廃止します。

2 施行期日

平成 27 年 4 月 1 日

3 再整備及び民営化の目的

現在、横浜市なしの木学園（主に知的障害児が入所）は、

- ① 居室が 4 人部屋中心であるため、個室対応が必要な、他害行為等のある強度行動障害児や被虐待児などへの支援が困難になっていること
- ② 児童施設ですが、18 歳以上の入所者（制度上は「障害者」）の退所が進まないこと
によって、新規の入所受入れが困難になっていること
などの課題があります。

そこで、個室の確保等により支援環境を整えるとともに、18 歳以上の入所者が障害者施設等に円滑に移行できるよう、市内で障害者入所施設（18 歳以上の障害者を対象）やグループホームを運営する社会福祉法人へ施設を移管し、運営法人による再整備を行います。

4 選考法人

平成 25 年 5 月に市内で障害者入所施設を運営する社会福祉法人を対象に募集を開始し、応募のあった 2 法人について、書類審査及びヒアリング等を経て、外部委員による審査会において審査を行い、整備・運営法人を選定しました。

【選定法人】

社会福祉法人 しこうかい 試行会（青葉区）

5 今後の予定

平成 25 年度	基本設計（25 年度予算計上済）
平成 26 年度	施設運営や利用者支援に関する法人への引継ぎ（1 年間）、実施設計
平成 27 年度	試行会による運営開始（4 月）、新棟着工
平成 28 年度	新棟しゅん工、既存棟改修着工
平成 29 年度	既存棟改修しゅん工

【参考】

<なしの木学園の現況>

所在地：横浜市泉区下飯田町 330

敷地面積：11,784 m²

施設構造：鉄筋コンクリート造（延床面積 2,926 m²）

・規模 管理棟及び児童棟（1階建て）ほか

しゅん工：昭和 55 年（築 33 年）

定員：50 人（長期入所 46 名、短期入所 4 名）

<再整備概要>

平成 27 年度に民営化し、運営法人が現敷地内で再整備を行います。

現在の建物は耐震上の問題がないため、整備コストの抑制のため改修して使用するとともに、新棟を増築します。これにより、居室の少人数化・個室化を図り、定員を現行 50 名から 70 名（長期 60 名＋短期 10 名）に変更します。

なお、土地については、これまでの障害関係施設の整備と同様に無償貸与を予定しています。また、建物についても、民営化後すぐに再整備を行う予定であり、整備にあたり一定の法人負担を求めていることから、無償譲渡とすることを予定しています。

<整備・運営法人概要>

法人名	社会福祉法人 <small>しこうかい</small> 試行会
所在地	横浜市青葉区奈良町 1757-3
設立許可 年月日	平成 8 年 11 月 15 日
理事長名	<small>かわかみ しげき</small> 河上 成樹
運営施設 (一部)	障害者支援施設 「青葉メゾン」 (青葉区) 地域ケアプラザ 「奈良地域ケアプラザ」 (青葉区) 障害者地域活動ホーム 「みどり地域活動ホームあおぞら」 (緑区) 障害者地域活動ホーム 「青葉地域活動ホームすてっぷ」 (青葉区) 等